

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容「人間関係」 Ⅲ-6-2-1 ②		教員氏名	中村 美和		
学年	1年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	卒業必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	10年	
テーマ	周囲の人とのつながりから生まれる子どもの学びや発達を理解し、5領域における「人間関係」の位置付けや、意味					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○ ○ ○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育内容「人間関係」は、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容5領域の1つであり、総合的活動としての遊びを通じた幼児の育ちを支える根底的な領域であることを理解する。 幼稚園における生活全体を通じて展開されるものであることを踏まえる。幼児たちが人とかかわることを喜び、人を信頼し、様々な問題や葛藤を共に乗り越える経験を通じて、主体的で対話的な深い学びが実現できるような保育を具体的に構想し実践する方法を身に付ける。					
授業の 到達目標	(1)保育内容5領域における「人間関係」の位置付けや、そのねらい及び内容を述べることができる。 (2)子どもを取り巻く人間関係を、事例を通して学ぶ中で子どもにとってより良い学びや発達を促すアプローチ方法を考えることができる。 (3)領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用できる。					
テキスト	『保育内容「人間関係 アクティベート保育学8』 ミネルヴァ書房					
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領』 厚生労働省『保育所保育指針』内閣府『幼保連携型認定子ども園保育・教育要領』					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他: 有事の場合オンライン授業【ハイブリッド型・自己学習型】で対面授業を行う。					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0	実施しない			
	授業内課題 ・発表等	70	提出課題やグループワークの課題提出			
	参加度・ 学習態度等	30	授業態度・グループワーク、ディスカッション			
その他						
再試験	行わない	行なわない 場合の 理由	授業内での提出課題やグループワークにおいて、複数の評価の機会を設けているため、再試験は行わない。			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	幼稚園教育要領における領域「人間関係」とは何か。 幼稚園教育要領での保育内容の構成と領域「人間関係」について理解する	
	授業外学習	①自分の現在の人間関係を振り返る ②幼稚園教育要領・保育所保育指針での保育内容「人間関係」の相違点を明確にしておく	55分
第2回	テーマ 内容	現代社会における人間関係の課題。子どもを取り巻く環境と5領域「人間関係」との関係性。	
	授業外学習	現代社会の問題を挙げ、子どもを取り巻く生活への影響を自分なりに考えまとめておく。	55分
第3回	テーマ 内容	人が他者と繋がりを持つプロセス。アタッチメント形成との関係。	
	授業外学習	アタッチメント形成とは何か自分なりにまとめておく。	55分
第4回	テーマ 内容	家庭を取り巻く環境と家庭連携。保育現場での保護者連携と保育者の援助。	
	授業外学習	乳幼児を持つ家庭の実際の悩みの実態を調べておく。保育の現場で行われている発信ツールについて調べる。	55分
第5回	テーマ 内容	幼児の安心感や充実感を培う保育者の援助。二人称的アプローチから考える保育者の在り方。	
	授業外学習	安心感・充実感・信頼関係・保育者というキーワード自分なりにまとめておく。	55分
第6回	テーマ 内容	子どもたちの発達を豊かにする遊びと人間関係の育ちを支える保育者の援助。事例の検討。子どもと保育者の信頼関係の形成。	
	授業外学習	年齢ごとの発達過程を調べ、信頼関係の構築に必要な要素を挙げておく。	55分
第7回	テーマ 内容	人間関係と保育の実際、保育士等との信頼関係の中で周囲の人や物と関わり合う姿 (事例:3歳未満児の生活)	
	授業外学習	保育所保育指針の領域「人間関係」のねらいや内容を確認しておく。自己発揮・自己主張・自己決定というキーワードを自分なりにまとめておく。	55分
第8回	テーマ 内容	人間関係と保育の実際、安心感から広がる子どもたちの生活、遊び (事例:3歳児の生活)	
	授業外学習	幼稚園教育要領の領域「人間関係」の内容を確認しておく。幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の項目を理解し、事例の姿と関連づけていく。	55分
第9回	テーマ 内容	人間関係と保育の実際、いざこざ場面や話し合いの場面、伝え合おうとする姿。 (事例:4歳児の生活)	
	授業外学習	幼稚園教育要領の領域「人間関係」の内容を確認しておく。幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の項目を理解し、事例の姿と関連づけていく。	55分

第10回	テーマ 内容	人間関係と保育の実際、目標も共にし自分達の世界を生み出せる人間関係 (事例:5歳児の生活)	
	授業外学習	幼稚園教育要領の領域「人間関係」の内容を確認しておく。幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の項目を理解し、事例の姿と関連づけていく。	55分
第11回	テーマ 内容	気になる子どものいる保育と援助。 (気になる子どもの人間関係、育ちを意識した活動、仲間関係、環境の配慮)	
	授業外学習	保育者の見守り、具体的援助 上記のキーワードを自分なりに整理してまとめておく。	55分
第12回	テーマ 内容	領域「人間関係」と小学校とのつながりと連携 (5歳児の事例:接続を意識した活動の工夫と援助。幼児期から小学校の育ちの連続性)	
	授業外学習	保育と教育の連続性 子どもの世界、生きる力、協同的活動 これらのキーワードを自分なりに調べ、整理しておく。	55分
第13回	テーマ 内容	グループ発表 (事例検討から、次の保育の展開を考える) 総括	
	授業外学習	保育事例から考察を行い、次の保育の展開としての言葉掛けや環境の設定など、グループで 伝え合い、まとめ発表する。	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

対話的・往還的授業を目指す。意見や疑問、そして課題の取り組み内容に対して、可能な限り授業内でフィードバックする。